

台風19号への対応、避難所開設・運営の支援(自主防災組織)

令和元年10月20日
水戸市吉田地区防災連合会
水戸市吉田地区自治実践会

台風19号の接近に伴い水戸市では、市民センターに避難所開設の準備発令が前日に通知された。これに伴い吉田地区防災連合会では防災計画に基づき・役員は、過般の15号台風で避難所開設した経験を基に役員招集を行い、市避難所指定動員職員と共に49名の避難者対応を行ったから連絡します。

記

1 参集

市の地域防災活動(避難所運営マニュアル)に基づき、避難所開設の指定動員職員に招集が発令された。これに伴い、地区防災組織役員、実践会役員に連絡、避難所の開設の準備を行った。招集時間は、令和元年10月12日(土)午前9:00(当初予定は、午前10:00集合)吉田地区防災役員(実践会役員兼)6名、市避難所指定動員2名、センター長1名の計9名が避難者49名の収容、支援を行った。

2 避難所への資機材の搬入・点検

参集と共にミーティングを行い、市職員と連携し、午前9時から避難所の開設を実施した。

- ①吉田市民センターに災害対策本部を設置・・・センター玄関に「災害対策本部」の看板掲示
- ②玄関内に避難者受付、(机)を配置し、市マニュアルの名簿を備え、入居者の把握に努めた
- ③ 防災機材を防災倉庫から搬入
 - ・ガス発電機2台、 試運転 ・投光器 試運転
 - ・毛布20枚・非常食(クラッカー2缶)・保存水 ・段ボールベット2セット設営(畳の部屋)
- ④市危機管理課から「間仕切り」の借用と設営
 - ・間仕切り(パテーション・マット)4張、大ホールに設営・養生テープ活用・・・別添写真
 - ・プレイマットを借用(女性会所有)、4家族分を設営・・・別添写真

3 避難所設営体制(勤務時間割)

10月12日(土)体制

防災役員6名(加瀬、栗田、萩原、山崎、仲澤、田口)
市指定動員(センター長山田、指定動員永井、船山)
午前11時まで、上記体制で資機材の搬入と点検、割り振りを実施
昼間人員体制

・ 9:00～14:00 (栗田、仲澤) ・ 14:00～20:00 (加瀬、山崎)

夜間・深夜体制

・20:00～13日(日)8:00(栗田、萩原、仲澤、田口)

10月13日(日)の体制

防災役員6名(加瀬、栗田、萩原、山崎、仲澤、田口)
市指定動員(センター長山田、指定動員緑川、橋本)

4 避難所の開設と運用

吉田市民センター内3部屋及び小学校体育館に避難所を開設

避難者のトリアージ(役員で協議)

- ・市民センターの畳の部屋1室は、持病のある者、病弱の高齢者、障害等既往症のある者を対象
 - ・上記以外で比較的元気な方をホールに設営したパテーション及び2Fの会議室避難所とした。
- なお、畳の部屋には、段ボールベット2個(防災連合会・防災士会所有)をセッティングし、対応した。

②吉田小学校体育館、10月13日(日)午前6時避難所開設

午前5時の那珂川氾濫の情報から、午前6時頃から、小学校体育館に集まり、午前10時頃、約30名に対し、避難者対象にシルバーリハビリ体操を依頼し、実施した。

5 防災無線の感度試験と交信

市民センターに備え付けの災害用MCA無線機を、地域防災活動マニュアルに従い、「情報集約フロア図2」により214上大野に向け吉田217MCA無線機から感度試験と、避難者の人数を送信した。感度は良好であった。感度試験は加瀬実践会長が実施

6 避難者の入居時間、人員は別添1のとおり49名

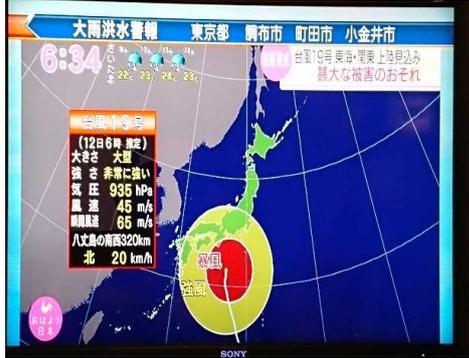
7 避難者の退去時間、人員は別添2のとおり49名

8 特異事例

肺気腫により酸素ボンベ搬入の避難者への対応を行った。車中泊2世帯、4人への対応

台風19号関連 避難所開設

NO1 10月12日(土)台風接近



夕方に上陸の大型台風
伊豆半島に午後6時上陸

NO2 10月13日 台風通り河川氾濫



水戸市那珂川周辺の氾濫
への救出

NO3



12日 午前9時～11時
水戸市吉田市民センター1F 大ホール
①間仕切り ②プレイマット

NO4



13日 小学校体育館
那珂川べりの避難民
シルバーリハビリ体操 (不安軽減と軽体操)

NO5



吉田市民センター2F ロールマット使用
避難所開設